

「うた乃」 育苗栽培暦

★品種の特性

- ・種子繁殖型品種であり、親株からの病害虫感染を防ぐことができる。
- ・「かおり野」並みの極早生性をもち、連続出蓄性が高い。
- ・果形は円錐形、果皮・果肉ともに赤い。
- ・高糖度、低酸度で独特の風味を有する。
- ・炭疽病抵抗性をもつ。

★育苗期における主な栽培の注意点

- ・炭疽病には強いが、発生することがあるため注意は必要。
- ・萎黄病には弱い。
- ・花芽分化時期は「かおり野」と同等。
- ・育苗後半の窒素切れで芽無し株が発生しやすい可能性あり。

三重県農業研究所 2024年3月作成

月	鉢上げ前日までの準備		7			8			9		
旬	ポット準備		上	中	下	上	中	下	上	中	下
作業と注意事項	萎黄病には罹病性のため新しい培土を使用！ ・ポット土入れ ・乾かないよう灌水 【鉢上げ手順】 ①ポットに土を入れ、培土に水をうち濡らす。 →鉢上げ時まで培土が乾かないよう注意！ ②培土に指で深さ4cm程穴を開ける。 ③406穴プラグ苗の培土をピンセットでさし抜き②で開けた穴に入れる。 ※無理に引っ張るとクラウンが傷む恐れあり ④株元を軽く押さえる。 ★ポイント★ 深植えすると灌水で芯が埋もれ、浅すぎると苗がグラグラで活着しにくいので、程よい深さに！（苗の培土がちょうど隠れる程度の深さに植える）		プラグ苗→9cmポット等 鉢上げ 施肥 固形肥料① 施肥 固形肥料② 液肥管理 本圃定植 定植時の株サイズ目安 展開第3葉長：25cm前後 クラウン径：8mmをめざす 定植目安日： 9/20～9/25 （花芽分化確認後） 斜めに倒して植える →第1花房を通路側に出させる かん水・乾燥注意 葉かき・ランナー・ドロ芽かき 苗が小さい時期の台風や豪雨に注意 展開葉3～4枚をキープ 作業は鉢上げ2～3週間後くらいからスタート その後目標：2週間に一度 始めは苗が細いため、クラウンを傷めないよう株元を押さえながら行う 表面が乾かない程度にたっぷり灌水。 しおれないように注意！ 固形肥料例 IBS1号（N:P:K=10:10:10） 約0.8g/粒 窒素80mg/粒								
	肥料焼けを防ぐため、固形肥料は株元から2～3cmほど離して施肥し、軽く埋め込むとよい（特に1粒目）		作業目安→鉢上げ：7/10～7/15頃 （9cmポットの場合） 培土に窒素分が少ない場合など：施肥①までに液肥（EC0.5前後） ※鉢上げ1週間後にIBS1号を1粒/ポット施肥。その後約20日後に1粒/ポット施肥。 液肥管理の場合 EC0.5 固形肥料①7/17～7/22頃 IBS1号 1粒/ポット施肥 固形肥料②8/6～8/11頃 IBS1号 1粒/ポット施肥 液肥管理 9月以降定植まで 週1～2回								
	★農薬使用回数は、播種から収穫終了までをカウントする プラグ苗購入時に同封されている、播種からの農薬散布履歴も含めてカウントが必要！！ 育苗期・定植前の病害虫防除は、基本、栄養繁殖型品種と同様に行う。		「斑点細菌病」（赤紫の斑点）が多雨時に発生しやすい傾向あり。 →新葉で正常に回復することが多い。 うどんこ病は、病徴の無い夏期の間に徹底した予防散布が鉄則。 アブラムシ、ハダニは初期防除に努める。 炭疽病が発生することもあるため、予防的防除を行う（特に雨よけ無しの場合）。								
病害虫防除											